

平和の鐘を鳴らす

—2010年7月9日9時～12時、長森・日野地区の9寺院を巡る—
長森・日野9条の会、参加者9名

65年前の7月9日、岐阜の街は、焼夷弾による夜間無差別爆撃の空襲を受け、火の海地獄となりました。歴史と自然に育まれた美しい岐阜の街は一夜にして焼け野原と化し、多くの市民が犠牲となりました。

この「平和の鐘」は、岐阜市民が悲惨な戦争の悲劇を胸に刻み、語り継ぎ、平和都市宣言として「戦争と核兵器のをなくす」こと訴え、その実現を誓って毎年7月9日に鳴らすものです。

長森・日野九条の会も、今年からこの地域で「平和の鐘」を響かせることになりました。

上宮寺



上宮寺住職と面談。 踏み石に石臼を配置した静かな美しい寺。 鐘に大無量寿経の1節“国豊民安兵戈無用”（こくぶみんあんひょうがむよう＝国が豊かで民が安らかなことは兵隊も武器もいらぬこと）の鑄だし文字。 日中戦争の最中（昭和12年）、この戦争は侵略戦争だとして戦争に反対し有罪判決を受け、真宗大谷派本山からも懲罰を受けた旧垂井町明泉寺僧侶竹中彰元師が根拠とした教えといわれる。



願照寺



境内は掃き清められ、門前には、青色の“平和の鐘を鳴らしましょう”の岐阜市の旗が。“岐阜空襲の日平和の鐘を！”の岐阜市仏教会のポスターも貼られて、周到にこの日の準備がされ、誰でも鐘が鳴らせるような配慮がされていました。 とても親切丁寧に應對頂き、お茶の接待までして頂きました。

真宗寺

細畑住宅街の中のお寺。 それぞれの思いを胸に9名で9回の鐘をつきました。

香巖寺

会の事務所近くのお寺。 境内には樹齢200年ともいわれる菩提樹の木が茂り、珍しく葉っぱの真ん中より多数の実をつけたヘタがいっぱい垂れさがっていました。 実を風に飛ばす人、葉にとハンカチに包む人もいました。 住職の奥様にいろいろのお話を聞かせて頂きました。



慈眼寺

岩戸公園近くにあり、背後に金華山と岐阜城を配した風光明美で野趣に富んだお寺。

草取り奉仕をした人もいました。



誓源寺



門の中央に青い“平和の鐘”の旗が飾られ、きれいに手入れされたお寺で、住職からお話を伺いました。

この寺の鐘は、戦時中、物資として供出されたのですが、この鐘には菊の花が刻まれていたため、戻ってきたそうです。菊と共に鐘の一部が凹んで変形し、戦争に翻弄された数奇な運命の名残が見られました。



全超寺

美濃新四国第十八番霊場全超寺、参道の入り口には“平和の鐘を鳴らそう！”の旗も掲げられていました。

天衣寺

新西国三十三か所霊場妙心寺派尼寺。立派な構えのとても美しい広い境内のお寺でした。

敬念寺

鐘楼は修復工事中でしたが、鐘を鳴らすことができました。境内に、親鸞上人の像があったので、みんなで記念写真を撮りました。

